

福祉課から各種補助のお知らせ 問合せ●保健福祉センター・福祉課 ☎75-4109

●在宅酸素療法者酸素濃縮装置利用の補助

呼吸器機能障害により、在宅酸素療法による治療を受けている人に対し、酸素濃縮装置の使用に要する電気料の一部を補助する制度を設けています。

対象●次の3つにすべて該当する人

- ①小鹿野町に住所がある人
- ②酸素濃縮装置を使用する在宅酸素療法を受けていて、酸素濃縮装置を常時使用している人
- ③施設等に入所していない人

補助額●月額1,500円(9月と3月の2回に分けて支給します。)

申請方法●次の書類に記入し押印のうえ、福祉課に申請してください。

- 補助金交付申請書
 - 酸素濃縮装置使用証明書(酸素濃縮装置の業者が記入したもの)
 - 在宅酸素療法受診証明書(医療機関が記入したもの)
- 補足事項**●毎年(年1回)申請が必要です。

●難病患者の通院に要する交通費の補助

治療が複雑で長期に及ぶ疾病(難病法に基づく指定難病、児童福祉法に基づく小児慢性特定疾病及び埼玉県特定疾患等医療給付事業実施要綱の対象となる疾患並びに血友病、慢性腎不全など)の患者さんが必要とする治療を受けやすくし、難病の早期治療を図るため、難病患者の通院に要する交通費の補助制度を設けています。

対象経費●

- 難病の治療のため通院する場合の交通費
 - 通院の際に、介護が必要な場合は介護者の交通費
- ※福祉タクシー利用料金助成又は心身障害者自動車燃料費給付を受けている場合は対象となりません。

対象期間●平成30年10月1日(月)～平成31年3月31日(日)

申請方法●4月19日(金)までに、印鑑、指定難病医療等の受給者証、本人名義の通帳をお持ちのうえ、福祉課に申請してください。

●心身障害者自動車等燃料費の給付

在宅の心身障害者が移動に要する自動車等の運行に伴う燃料費の一部を給付することにより、経済的負担の軽減と生活の利便を図るため、燃料費の給付制度を設けています。

対象区分	所有者及び運転者		
	等級等	本人	家族
身体障害者手帳	1・2・3級	○	×
	下肢・体幹障害	○	×
	視覚障害	○	○
療育手帳	①・A・B	○	○
精神障害者保健福祉手帳	1級	○	○
障害児(18歳未満)	等級は問わない	○*	○

※免許がある場合

対象燃料費●給付申請後、給付資格認定された月以降の燃料費

給付額●1ℓ当たり50円(自動車30ℓ/月まで、バイク5ℓ/月まで)

申請方法●印鑑、運転免許証、車検証、障害者手帳、本人名義の通帳をお持ちのうえ、福祉課に申請してください。

※福祉タクシー利用料金助成又は難病患者通院交通費補助を受けている場合は対象となりません。



※これまでに申請済みの人(給付している人)は、既に送付している給付請求書用紙に給油時の領収書等を貼付し、4月5日(金)までに、福祉課に提出してください。

各種補助に関する申請書等は、福祉課に用意してあります。

どうぞご利用ください 小鹿野町奨学資金貸付制度

町では、経済的な理由等により就学が困難な学生を対象に、無利子で奨学資金の貸し付けを行っています。

対象●高校・各種専修学校・短大・大学に在学又は入学予定の人

貸付金額●【高校】月額1万円以内 【その他】月額3万円以内

貸付期間●在学期間

受付期間●4月3日(水)～12日(金)

申請書配布●3月11日(月)から小鹿野庁舎・総務課、両神庁舎・おもてなし課、両神ふるさと総合会館・学校教育課で配布します。

申込&問合せ●両神ふるさと総合会館・学校教育課 ☎79-1201



・・・入札結果のお知らせ・・・

※金額は、消費税込

事業名	事業場所等	契約額	落札者	履行期間
境界確認申請書等電子化業務委託	小鹿野町全域	1,404,000円	株式会社千島測量設計	～平成31年3月22日
小鹿野町データ転送機器購入及び著作物使用・保守事業	小鹿野町役場 小鹿野庁舎	3,750,840円	藤田ソリューション パートナーズ株式会社	～平成31年3月25日 (保守契約期間:5年間)

▲平成31年1月29日入札分



内田の気になるつぶやき 小鹿野中央病院長 内田 望

生活習慣病について① 糖尿病と診断されたら



1月は行く、2月は逃げるとはまさに言い得て妙。あっという間に3月ですね。春も少しずつ近づいてきました。「暖かくなってきたら運動します」とおっしゃっていた皆さん。そろそろですよ。

さて、今回は「糖尿病と診断されたら」のテーマで解説していきましょう。といっても、すぐに薬の話になるわけではありません。糖尿病の治療には、食事療法、運動療法、薬物療法と大きく3つに分けられます。また、治療の目標は何より合併症を防ぐこと、そして健康な人と同じような日常生活を送り、健康な人と同様の寿命を全うすることです。ですのであわてないでください。むしろ糖尿病と診断されてよかった、このまま放っておいたら大変だった、と前向きに考えましょう。

まずは、糖尿病の程度がどのくらいかということから判断していきます。その指標になるのが、前回も少し取り上げたHbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)です。

下の表からわかるように、まずは合併症予防の観点からHbA1c<7.0を目標にします。覚えやすくするために、体温でイメージするといいかもしれません。熱が37℃以上なら気を付け、38℃以上になるとしっかり治療する、という感じでしょうか。ただし、年齢や薬の副作用などを考慮して、少し甘くしたり、厳しくしたりすることはよくあります。特に高齢の方は低血糖による副作用の危険性が高まりますので、緩やかに治療することもあります。細かいことは主治医に相談してください。

次回は具体的な治療について解説してきます。

■血糖コントロール目標

コントロール目標値(注4)

目標	血糖正常化を目指す際の目標(注1)	合併症予防のための目標(注2)	治療強化が困難な際の目標(注3)
HbA1c(%)	6.0未満	7.0未満	8.0未満

治療目標は年齢、罹病期間、臓器障害、低血糖の危険性、サポート体制などを考慮して個別に設定する。

- (注1) 適切な食事療法や運動療法だけで達成可能な場合、又は薬物療法中でも低血糖などの副作用なく達成可能な場合の目標とする。
- (注2) 合併症予防の観点からHbA1cの目標値を7%未満とする。対応する血糖値としては、空腹時血糖値130mg/dL未満、食後2時間血糖値180mg/dL未満をおおよその目安とする。
- (注3) 低血糖などの副作用、その他の理由で治療の強化が難しい場合の目標とする。
- (注4) いずれも成人に対しての目標値であり、また妊娠中は除くものとする。

(日本糖尿病学会ホームページより)